

平成29年度 学校評価羅針盤

桐生市立広沢小学校

羅 針 盤		方 策
評価対象	評価項目	具体的数値項目
I 保護者と連携を図りながら教育をすすめていますか。	1 学校は、保護者への連絡をきめ細かく行っていますか。	①「学校や子どもの成長の様子がわかる」と答える保護者が80%以上である。
	2 学校は、保護者が学校を理解したり、協力したりしやすい環境をつくっていますか。	②授業参観や懇談会に出席している保護者が80%以上である。 ③質問や相談にきちんと対応していると感じている保護者が80%以上である。
II 児童は「確かな学力」を身に付けていますか。	3 学校の授業は、わかる授業となっていますか。	④「授業がわかる」と答える子どもが80%以上である。
	4 学習したり読書したりする習慣が児童に育っていますか。	⑤家庭での学習や読書を、1日あたりの目標時間以上(1,2年30分、3,4年40分、5,6年60分以上)行っている子どもが80%以上である。
III 児童に基本的な生活習慣を身に付けさせ、「豊かな心」をはぐくんでいますか。	5 すすんであいさつしたり、はっきり受け答えしたりできる児童が育っていますか。	⑥すすんであいさつのできる子どもが90%以上である。
	6 いじめのない温かな人間関係が育っていますか。	⑦相手の立場や気持ちを考えた、親切な言動がとれる子どもが80%以上である。 ⑧自分のクラスを好きだと言っている子どもが90%以上である。
	7 学校や家庭での自分の役割を果たしていますか。	⑨学校や家庭で自分の役割を果たしている子どもが90%以上である。
IV 児童の健康づくりに努めていますか。	8 規則正しい生活をしている児童が育っていますか。	⑩食事や睡眠の意味と役割を理解し、規則正しい生活をしている子どもが80%以上である。
	9 日常的に運動に取り組めるよう、時間や場などの環境を整えていますか。	⑪からだを動かして遊んだり運動したりしている子どもが80%以上である。
V 児童の安全確保に努めていますか。	10 学校施設の安全管理を徹底していますか。	⑫防犯や避難、救護などを想定したシミュレーションを学期1回以上実施し、安全(危機)管理マニュアルの見直しを図っている。
	11 通学時の安全対策をとっていますか。	⑬事故の発生原因を理解し、正しい歩行の仕方や自転車の乗り方ができる子どもが90%以上である。 ⑭通学路の危険箇所について子どもと話し合ったり確認し合ったりして、緊急時の対応がとられている家庭が90%以上である。
VI 児童に将来への夢や希望をはぐくんでいますか。	12 児童が自らの将来について考えるように育っていますか。	⑮子どものよいところを認め、励ますよう努めている保護者が80%以上である。
	13 児童は将来の夢や希望をもっていますか。	⑯将来の夢や希望する進路について家の人と話し合っている子どもが80%以上である。
VII 児童に地域を理解し、愛する心をはぐくんでいますか。	14 学校は地域について学習する機会をもっていますか。	⑰地域について学習する機会があり、地域を理解し地域に親しみを感じている子どもが80%以上である。
VIII 目指す児童像の育成に向けた組織を編成し、円滑に運営していますか。	15 目指す児童像に迫るための手だてを考え、実践していますか。	⑱学校評価の各項目と担当している校務分掌を関連付けて実践し、成果や課題を明らかにしている。
	16 組織の一員として協働参画していますか。	⑲一人一人の職員が立案した企画書の理解に努め、自分の役割を明確にし、適切に実践している。

方 策
◎H29の重点課題
・電話、家庭訪問、連絡帳等による連絡及び学校通信や学年、学級便りによる情報公開の充実
・授業参観日や懇談内容等の家庭への早期の連絡(保護者のニーズに応えた内容)と、懇談会内容の充実
・職員の専門職としてのモラルの高揚(報告、連絡、相談による協力体制や組織的対応の充実。)
・質問等で相手への誠実な回答の励行
・5,6年での教科担当制による専門的でわかりやすい指導
・体験的な学習や課題解決的な学習を取り入れた授業展開の工夫
・望ましい授業態度の指導徹底
・「家庭学習の手引き」の周知、活用
・発達段階に応じた「読んでおきたい図書」情報の提供
・職員の率先垂範
・委員会児童によるあいさつ運動
・道徳や学活の時間を中心とした「あいさつの意義」の指導
・懇談会や通信等による家庭へのあいさつ励行意識の啓蒙、あいさつ週間
・相手の立場や気持ちを考えた言動のできる心の育成
・生徒指導委員会を中心とした問題把握と事後指導及び未然防止の指導と対応
・QUの結果を生かした学級経営の充実
・互いに目を見てあいさつ、話ができる態度の育成
・自己有用感、充実感の向上を図る学級経営
・率先垂範による清掃指導の徹底
・学級や家庭で役割を持たせ、奉仕の心を大切に生活実践
・食育や生活習慣づくりの指導の充実
・「生活安全目標」をもとにした、個々のPDCAサイクルの実施
・家庭での生活習慣の形成と充実
・休み時間における外遊びや運動の励行
・朝の運動の充実
・遊具の充実
・避難訓練等、学期1回以上の実施
・定期的安全点検の励行
・交通安全教室、年2回の実施
・PTA生活指導部との連携及び職員による交通安全指導の徹底
・スクールガート対策委員会、教職員による通学路の危険箇所の見直しと改善充実
・地区児童会の活動内容の充実
・連絡帳等を活用した児童のよさの情報提供、認める心や態度の醸成
・保護者会や学校、学年便りを通しての進路指導の伝達
・特活、道徳を中心に児童の将来や進路について考えるキャリア教育の充実
・生活科や総合的な学習の時間、社会科の授業での地域の取り上げと、学習の機会の設定
・地域行事の紹介と積極的な参加の啓発
・担当している校務分掌のねらいや内容、方法の明確化と実践、評価
・校務遂行にあたっての企画立案、理解、検討の場の確保
・学校経営参画の意識や協働態勢の確立